

株式会社 サンエー化研

証券コード:4234

株主の皆様に向けて作成した
決算報告書を掲載しています。



株主の皆様へ

第117期 報告書

2025年4月1日～2026年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第117期(2025年4月1日～2026年3月31日)における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。



代表取締役社長

さくら だ たけ し
櫻 田 武 志

当期の経済情勢

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかに持ち直しているものの、継続する物価上昇や人手不足、さらには中東情勢の緊迫化によるエネルギー問題や石油関連製品の供給不安などの懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの業績概況

当社グループの業績概況といたしましては、昨年譲り受けた保護フィルム事業の生産開始により、機能性材料部門の稼働率は上昇し収益性が改善したこともあり、増収増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高303億58百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益8億37百万円(前年同期は営業損失32百万円)、経常利益10億21百万円(前年同期は経常利益90百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益9億57百万円(前年同期比299.4%増)となりました。

なお、2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

今後の取り組みについて

軽包装部門につきましては、食品用包材を主軸に、医薬品・

医療用包材、日用品用途など各分野において当社グループの加工技術を活かした製品の開発及び拡販に取り組んでおります。電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」シリーズの展開を進めるとともに、非食品分野への用途拡大を図っております。また、プラスチックボトルからフィルムパウチへの切替え、フィルムパウチに代わりうる紙を主原料とする包材の開発、モノマテリアル化によるリサイクル性向上など環境配慮型製品の開発を進めるとともに、生産工程の見直しや設備運用の効率化を行い、生産性向上と収益性の改善に取り組んでまいります。

産業資材部門につきましては、紙・布へのラミネート製品及び剥離紙を主軸に、シノムラ化学工業株式会社との連携による効果を活かし、生産体制の見直しや設備の統廃合による効率化を進めております。販売価格の適正化及び製品構成の見直しにより、安定した収益の確保を目指してまいります。また、剥離紙のリサイクルなど業界で進められている環境負荷低減の取り組みにも参画し、資源循環への対応を進めてまいります。

機能性材料部門につきましては、オレフィン系粘着加工品及び各種粘着加工品を主軸に事業を展開しており、来期以降は昨年譲り受けた表面保護フィルム事業が本格稼働することで更なる事業の拡大が見込まれております。今後は生産体制の安定化を進めるとともに、効率的な操業による収益性の向上を図り、当社グループの業績への安定的な寄与を目指してまいります。

当社グループといたしましては、今後も製品開発の推進、生産性向上及び業務効率化に取り組み、企業体質を改善する

ことで、収益基盤の強化に努めてまいります。

サステナビリティへの取り組み

当グループでは「サステナビリティ推進委員会」の方針の下、環境負荷低減、従業員の働きやすさの向上及び人材の活躍推進に関する取り組みを継続的に推進しております。

環境面では、CO₂排出量の把握と削減、省エネルギー設備の導入、太陽光発電の活用やCO₂フリー電気の採用などを計画的に進め、事業活動と環境負荷低減の両立に努めております。

人的資本に関しましては、人事制度の見直しや従業員エンゲージメント向上の取り組みを継続しております。従業員が会社に対して愛着と誇りを持ち、自発的に力を発揮できる職場づくりを目指し、エンゲージメントサーベイの実施や職場環境の改善、安全で働きやすい設備への投資などを進めております。

また、現場の改善活動や人材育成を通じて、一人ひとりの気づきと行動が会社の成長につながる企業文化の醸成に努めております。経営と現場が同じ方向を向き、会社と従業員が「パートナー」として共に成長していくことを重視し、サステナビリティへの取り組みと収益性の向上を両立させることで、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

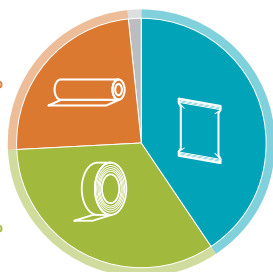
2026年6月

決算 ハイライト	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	303億58百万円 (前年同期比 3.2%増)	8億37百万円 (前年同期は営業損失32百万円)	10億21百万円 (前年同期は経常利益90百万円)	9億57百万円 (前年同期比 299.4%増)

■ 部門別売上高構成比率

機能性材料 24.2%

産業資材 33.7%



軽包装 40.6%

■ 部門別売上高

売上高 303億58百万円

軽包装 123億22百万円

産業資材 102億17百万円

機能性材料 73億45百万円

軽包装

■ 事業内容

食品、医薬品、医療器具、日用品、電子部品、精密機器等の包装材料の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

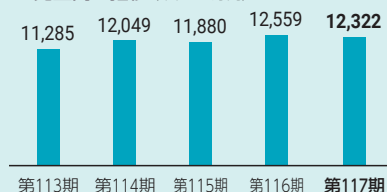
■ 当期の概況

食品用包材は、電子レンジ対応食品用包材「レンジDo!」において食品メーカーでの販売価格値上げの影響から消費者の買い控えがおこり当社の受注も減少。一方でその他の食品用包材の受注は堅調に推移。

医薬品・医療用包材は、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」をはじめその他の医薬品向けにおいても受注が堅調に推移。

日用品等の包材は、低採算製品の受注調整や包材の形態変更に伴い受注が減少。

■ 売上高の推移 (単位:百万円)



産業資材

■ 事業内容

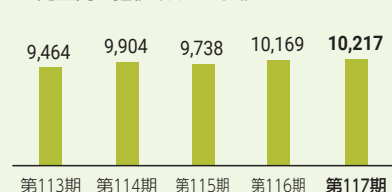
粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

■ 当期の概況

紙・布へのラミネート製品は、一部顧客のテープ事業縮小の動きや、顧客の製品ユーザーにおける大規模なシステム障害の影響、海外品の流入などにより受注が減少。

剥離紙はスマートフォン向けFPC(フレキシブルプリント基板)用工程紙や自動車関連用途向け製品の受注が増加。

■ 売上高の推移 (単位:百万円)



機能性材料

■ 事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

■ 当期の概況

オレフィン系粘着加工品については、昨年譲り受けた保護フィルムの生産開始により受注が増加。

その他の粘着加工品は、スマートフォン・タブレット等の仕様変更やVRゴーグルの売れ行き不振の影響を受けて受注が減少。

■ 売上高の推移 (単位:百万円)



総資産

(単位:百万円)



純資産／自己資本比率

(単位:百万円／％)



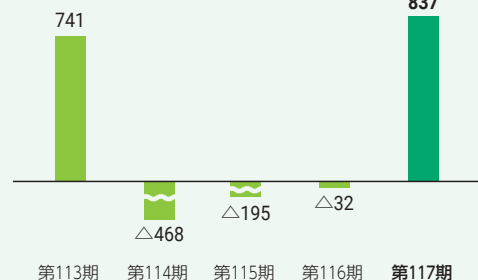
売上高

(単位:百万円)



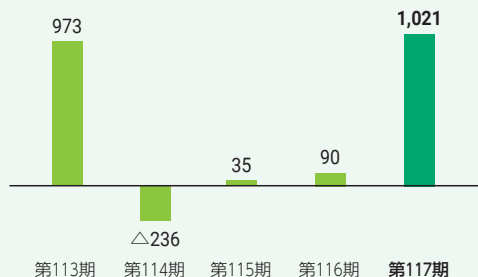
営業利益

(単位:百万円)



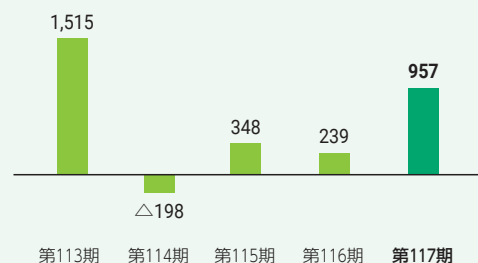
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



第117期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第116期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

財務ハイライトの詳細は決算短信をご覧ください。

<https://www.sun-a-kaken.co.jp/assets/pdf/ir/library/result/202603tanshin1.pdf>



■ TAIPEI PACK 2025(台北國際包裝工業展) ■



2025年6月25日(水)～6月28日(土)、台北南港展覽センターにて開催された「TAIPEI PACK 2025(台北國際包裝工業展)」に出展いたしました。主力製品である「レンジDo!」に加え、調味料や具材が入った袋に食材を加えて電子レンジで加熱するだけで、本格的な料理を作ることができる「レンジDo! チャック付きタイプ」、ピロー包装に対応した「レンジDo! 自動包装用」などの新規開発品を展示。4日間で多くの方にご来場いただき、約100社以上と名刺交換・商談コンタクトをすることができました。昨年に続き、今年2026年6月24日(水)～6月27日(土)も出展しております。

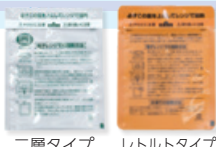
■ 第8回 Next Package 2025 ■

2025年11月14日(金)、秋葉原UDXギャラリーにて開催された「Next Package 2025 “人と技術の交流が未来を包む”」に出展いたしました。主力製品であるレンジDo! をモチーフにして、パッケージによる環境に配慮した社会の実現に向けた「サステナブルシリーズ」と、更なる機能を追加した進化系の「エボリューションシリーズ」を展示。サンエー化研のパッケージソリューションを紹介いたしました。

レンジDo!® Standard Series

T型(平置タイプ)

液状の食品から
固形の食品まで
幅広く使用できます。



二層タイプ レトルトタイプ

二層タイプ

レトルトタイプ

冷蔵 冷凍 90分

常温 冷蔵 120分

丼の具、ハンバーグ

カレー、スープ

ST型(スタンディングタイプ)

店頭で立てた状態で
ディスプレイできます。



ポイルタイプ

レトルトタイプ

冷蔵 冷凍 90分

常温 冷蔵 120分

中華総菜、スープカレー

スープ、パスタ

W型(平置ワイドタイプ)

開口部が広いので、
充填しやすく、
取り出しやすい形状です。



常温 冷蔵 120分

魚の切り身、焼き鳥

NEW レンジDo!® 進化版 Evolution Series

チャック付きタイプ

- ・レンジ加熱で
圧力調理が可能
- ・フローズンチルド
対応可能



冷蔵冷凍用

常温用

冷蔵 冷凍 90分

常温 冷蔵 120分

タレ付き肉
(+野菜)

調味液(+肉)

メタリックタイプ

- 冷蔵冷凍用 ポイル後バリア値
・酸素透過度: 1.5cc/m²・atm・day
・水蒸気透過度: 2.9g/m²・day
・全光線透過率: 9.7%
- レトルト用 レトルト後バリア値
・酸素透過度: 0.1cc/m²・atm・day
・水蒸気透過度: 0.4g/m²・day
・全光線透過率: 8.7%



冷蔵冷凍用

レトルト用

冷蔵 冷凍 90分

常温 冷蔵 120分

コンビニ惣菜

パスタソース

レンジDish!

ミシン目加工を
施しており、
お皿代わりに
なります。



常温 冷蔵 冷凍 90分

具入りスープ、チャーハン

耐熱タイプ

- ・油分の多い食品や
粘性が高い食品
- ・加熱時間が長い
冷凍食品



冷蔵冷凍用

レトルト用

冷蔵 冷凍 90分

常温 冷蔵 120分

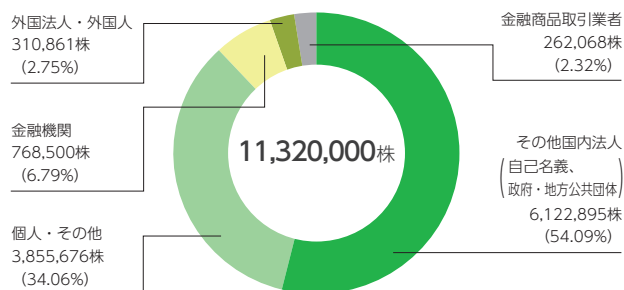
ハンバーグ、
中華総菜

パスタソース

株式の状況

発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	3,235名

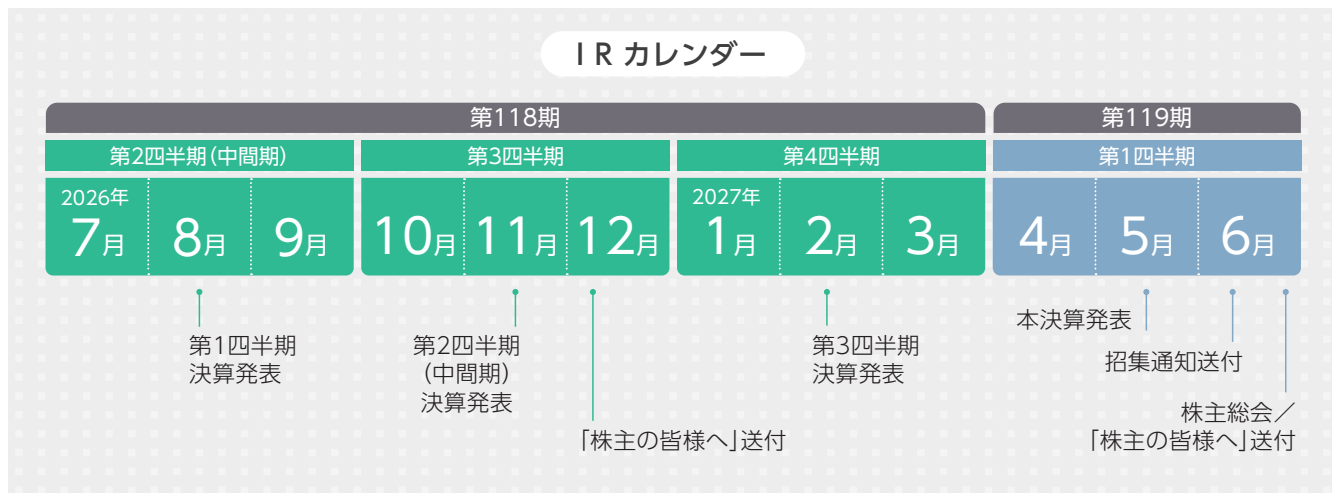
所有者別株式分布状況



会社概要

商 号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事 業 所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設 立	1942年9月
資 本 金	21億76百万円
従 業 員 数	432名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

IR カレンダー



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

株式事務に関するお問い合わせ

- (1) 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。
- (2) 払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

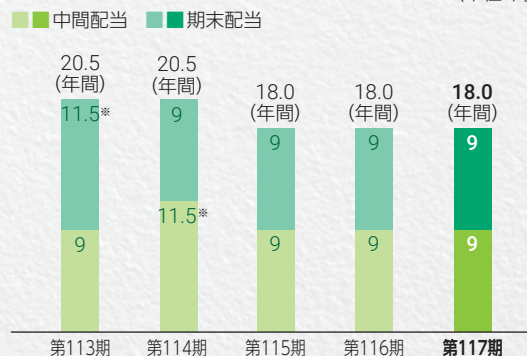
配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針の下、第117期(2026年3月期)の期末配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。これにより、第117期の年間配当金は、中間配当金9円と合わせて、1株当たり18円となりました。

1株当たり配当金

(単位:円)



※創立80周年の記念配当2.5円を含む。

ホームページの
ご案内



当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

URL▶<https://www.sun-a-kaken.co.jp>

株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。